

一般社団法人

日本環境感染学会

医療機関における
新型コロナウイルス感染症への対応
ガイド 第3版

ここでは、特にエアロゾルを生じる
処置として、ネブライザー療法あげて
いますが、これは「肺炎治療」に対し
て行われるものであり、耳鼻咽喉科
が使用するような薬剤投与に用いる
ネブライザーは該当しない、としていま
す。

当院のネブライザー治療の注意点。

- 診察にて必要があると判断し、患者様に当院のネブライザーの方法をご理解いただいた場合、実施いたします。
 - ネブライザー療法は、お一人ずつ、またはご家族単位で実施いたします。
 - ネブライザーで使用したマスク、吸入ホース、ノーズピース、薬を入れるカップ等は、お一人ずつ消毒いたします。
 - マウスピースは逆流防止弁付きのものを使用いたします。
 - ご家族で別々のネブライザーの機械を2台、同時に使う場合は、人と人の間隔を開けて行います。
 - ネブライザー後は、その周辺と機械の消毒を行います。
 - 院内は、常に換気に心がけます。
- ※ 以上により、ネブライザーを行うための待ち時間が少々長くなる場合がございます。